

意見交換会実施報告書		
日 時	令和 7 年 1 1 月 2 2 日 1 0 時 1 5 分から 1 2 時 0 0 分まで	
会 場	市役所本庁舎 6 階 全員協議会室	
出席議員	早川副議長、岡崎広報広聴委員会委員長、吉川副委員長、 花田議員、金子議員、藤村議員、清野議員、新倉議員、水島議員、 菊池議員、滝口議員、長谷川議員、加藤議員、伊藤議員	
参加人数	9 名	
経過記録	開 会	10時 15分
	議 長 挨 拶	10時 15分～ 10時 17分
	進 行 説 明	10時 17分～ 10時 20分
	自 己 紹 介	10時 20分～ 10時 25分
	意 見 交 換 ①	10時 25分～ 10時 50分
	席 替 え	10時 50分～ 10時 52分
	自 己 紹 介	10時 52分～ 10時 57分
	意 見 交 換 ②	10時 57分～ 11時 22分
	発 表	11時 22分～ 11時 37分
	参 加 者 感 想	11時 37分～ 11時 52分
	総 括	11時 52分～ 11時 55分
	アンケート記入	11時 55分～ 12時 00分
	閉 会	12時 00分
テ ー マ	【議員と話そう、茅ヶ崎のこと！！～茅ヶ崎の今とこれから～】 詳細なテーマについては、各テーブルにて話の上、決定。	
概 要	・ 第1回の参加者は申込のとおり 9 名で当日欠席等はなかった。	
	・ 当日参加者及び見学者なし。	
	・ 参加者 9 名中、30歳代・40代・50代が 6 名で、平均年齢53歳であった。	
	・ テーマ設定は各テーブルで話し合い決定、前半及び後半ともに参加者が分散	
	して着席し、各テーブルで闊達な意見交換が行われた。	
主な意見	別紙 1 から 5 のとおり	
令和7年12月16日 茅ヶ崎市議会議長 岸 正明 様 上記報告書のとおり開催しましたので報告します。 広報広聴委員会委員長 岡崎 進		

意見交換会における主な意見 (別紙1)	
日 時	令和7年11月22日 10時15分から12時00分
担 当	Aグループ 進行：新倉 真二 書記：加藤 大嗣
主な意見	自由記述
	<p>【福祉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児が(児童養護施設を卒業後)18歳を迎えた以降、行き場がなく保護者の心身の負担が大きい。社会全体の問題として捉える必要がある。
	<p>【文化・福祉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難聴者が映画を観に行くと、邦画公開時には字幕が出ない。教育機関(文教大学)に映画字幕科を開設して欲しい。
	<p>【財政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の収入源を増やす施策を考えよう。市内経済・賑わいの創出。 ・市内に点在している観光スポットをつなげ、分かりやすくコースを設定し、多くの観光客を呼び込む。
	<p>【憲法・法律】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法と地方自治法について、学習し議論することで、市政に関心を高めることにもつながると思う。
	<p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性教育について、特に男性は引いてしまうが、日常の生活にも関わることもあり充実させたい。

意見交換会における主な意見

(別紙2)

日 時	令和7年11月22日 10時15分から12時00分
担 当	Bグループ 進行：水島 誠司 書記：長谷川 由美
主な意見	自由記述
	<p>前半、後半ともに2名の参加者がBグループのテーブルについた。 うち3名はリピーターで、1名が広報ちがさきを見ての初参加とのこと 次のことについて意見交換がなされた</p> <p>【少子・高齢化と健康について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会となり地域の医療を守ることが重要である。そのためには、茅ヶ崎市立病院を守る必要がある。コミュニティバスで市立病院に行くルートは、乗り換えも含めて無料にするなどが有効だと思う。 ・看取りや往診を自分で選択できる体制が必要だ。 ・茅ヶ崎銀座商興会では、医師からの提案もあって乳がん啓発のためのバナーを掲示している。マンモグラフィ受診など、茅ヶ崎は乳がん検査の受診率が低い。年間を通した取組を行ってほしい。 ・マンモグラフィ検査を受けたことがあるが、補助の対象年齢ではないので、高い。3000円くらいで受けられると良いとの意見があった。 ・認知症交流カフェを積極的に ・高齢化、少子化していく中で、現在は人口も増えている茅ヶ崎の豊かさを守っていけるのだろうか？と思う。多くの市民活動が行われているが、市全体としてのビジョンがないように思う。東京都は子育て政策、補助が充実している。金銭面での支援があると応援されていると感じる。子育て支援に独自性が欲しい。 ・いわゆる「育休退園」について。一人目の子どもが保育園に通園している中で、2人目の子どもの育休に入った。しかし、新年度に向けて2人目の子どもの入園を希望しない場合は一人目の子どもは退園になってしまう。通っていた保育園から幼稚園に変えることはむずかしい。また、2人目の子どもと育休が取れるうちは、一緒にいたいという希望も叶わない。このことは、保護者の中では有名で、みな困っているのになぜ声が届かないのか？ <p>【まち、文化スポーツについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢わくわく公園によく散歩に行くが、遊戯などが整備されているのに比べて、トイレが古くて汚い。和式ばかりで使っている様子がない。予算をとって改善してほしい。 ・駅のトイレについても、同じような声がある

<p>主な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場を確保してほしい。（特に困ったことはないという意見も）無料と有料のところがあるので、シンプルにどこでも１回１００円などとしてはどうか ・点字ブロックの上に止めないように ・映画や演劇の常設館があるといい。いつ行っても何かをやっていて、安価で見られるなど。これから使われなくなる保健所の建物などを使ってはどうか。 ・アロハ文化の推進、ハワイとの交流。学校でウクレレを教えるなどして欲しい <p>議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・請願、陳情がインターネット、電話、ファックスでできると良い。SNSで市議に要望など ・市長には「わたしの提案」がある。市議会への提案窓口が欲しい <p>不法投棄への対応</p> <p>道路渋滞の緩和</p> <p>コンプライアンス遵守、ハラスメント対策</p>
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

意見交換会における主な意見

(別紙3)

日 時	令和7年11月22日 10時15分から12時00分
担 当	Cグループ 進行：花田 慎 書記：伊藤 素明
主な意見	自由記述
	<p>◎まちづくり関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ■公園が少なく子どもたちが遊ぶ場所が少ない ■路線バスの便が少なく移動に困る ■海岸グランドプランの方向性や進捗状況はどうなっているのか <p>◎環境関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ごみの排出や回収に問題があるため改善する必要がある ■市内全体で様々な場所で不法投棄が目立つ <p>◎福祉・健康・医療関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ■介護業界での人材不足によるサービス低下が危惧される ■茅ヶ崎市は他市（藤沢市）に比べ介護認定の基準が厳しすぎる ■健康寿命の延伸を図る上でも健康診断の受診率を上げるべきでは ■茅ヶ崎市立病院での外来診療の待ち時間が長い ■認知症サポーターの活用並びにフレイルサポーターの情報や周知をもっと発信するべき <p>◎交通関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ■自転車放置対策に向けて駐輪場を増やせないか ■道路が狭あいで通行しづらい ■茅ヶ崎駅から海岸へ向かう道路を平塚市のように路面を色分けするなど工夫すべきでは <p>◎行政関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ■茅ヶ崎市のコンプライアンスやハラスメント対策など職場環境の改善 ■財源確保に向けた取組を強化すべきではないか（財源不足による市民サービスの低下が心配） <p>◎経済関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ウォークラリー等のイベント開催で来訪者を増やす <p>◎子ども関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ■子どもを産み育てやすい環境を推進して欲しい

意見交換会における主な意見

(別紙4)

日 時	令和7年11月22日 10時15分から12時00分
担 当	Dグループ 進行：菊池 雅介 書記：藤村 優佳理
主な意見	自由記述
	<p>1. 働き方と子育て環境に関する対話</p> <p>● 働き方の変化から見えるまちの姿</p> <p>コロナ禍でテレワークが普及し、茅ヶ崎に移り住んだ理由が共有された。フルリモート案件の減少や出社増加の動きが、子育て世代の生活に直結しているという実感が語られた。</p> <p>● 子育て期のリアルな生活感</p> <p>小学校入学後の生活の変化や、学童クラブの利用しづらさについて体験談が出された。</p> <p>子どもの遊び場が少ない、公園での「禁止事項」が多いといった声も多く、子どもを取り巻く日常が具体的にイメージされた。</p> <p>● 市の取り組みや背景理解</p> <p>テレワーク誘致による転入増加の歴史や、子ども・子育て支援体制の変化が共有され、参加者同士の理解が深まった。</p> <p>公園整備の工夫や市の土地取得など、まちづくりの取り組みも話題に上った。</p> <p>2. 産業・起業支援と働き方の選択肢</p> <p>参加者間の対話では、</p> <p>「自分らしい働き方が選べるまちにしたい」という共通の思いが見られた。</p> <p>リモートワーク環境の維持は、子育てやライフスタイル選びに大きく影響する。副業やスタートアップに挑戦しやすい風土がほしい、という声が多様な立場から出た。</p> <p>市や県が行っている起業支援制度が紹介され、情報を知ることによって新しい可能性に気づく場面もあった。</p> <p>3. 市議会の役割と市民サービスへの理解</p> <p>対話の中で、行政と議会の役割への理解が深まる場面が多かった。</p> <p>市議会は、市長や執行部の政策をチェックし、市民の声を政策に反映する役割を担っている。</p> <p>デジタル化が進む一方で、スマホに不慣れな方を支える市の講習会や、LINE公式での広報などが紹介され、「誰も取り残さない行政サービス」がテーマとして浮かび上がった。</p>

<p>主な意見</p>	<p>また、市独自の介護支援員制度が紹介され、地域福祉と人材確保の視点から意見交換が行われた。</p> <p>4. 地域コミュニティ・自治会・ボランティアのこれから 対話では、地域とのつながり方について幅広い視点が得られた。 PTAの成功事例から、「無理なく関わる仕組み」の重要性が共有された。 一方、自治会では役員不足や、若い世代の参加が難しいという現状を参加者同士が理解した。 定年後の居場所づくりについても意見が広がり、市のボランティアセンターの役割が紹介された。 これらの対話を通じ、地域との関わり方は一つではなく、柔軟い選択肢が必要という共通認識が生まれた。</p> <p>5. 情報発信に関する新たな発見 参加者の中には、「地域の掲示板のポスターを見て参加した」という声が複数あった。 SNSやデジタル発信が主流の時代でも、地域掲示板やポスターなどの“アナログの情報”が確実に人を動かすことがあると実感した。 オンラインだけでは届かない層にアプローチできる点で、アナログ情報は依然として重要な広報手段である。 今後も、デジタル × アナログの両輪で、誰もが参加しやすい開かれた場づくりを続けていきたい。</p>
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

意見交換会における主な意見 (別紙5)	
日 時	令和7年11月22日 10時15分から12時00分
担 当	Eグループ 進行：金子 遥 書記：清野 匡志
主な意見	自由記述
	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会活動を広めるには（内容など） ・投票率を上げるためには？ ・公園の草刈りが遅い ・子供の遊び場が少ない ・ボール遊び・野球などが出来ない ・起業を促進してほしい ・企業誘致を進めてほしい ・IT・無形商材の活用 ・観光が弱い ・グランドプランに関心がある ・なんで議員になろうと思ったのか（やりがい、今の関心ごと） ・商工会議所とは ・憲法改正前に、知る会を開いてほしい ・自治基本条例の勉強会を開いてほしい

意見交換会実施報告書		
日 時	令和7年11月22日 14時00分から15時45分まで	
会 場	市役所本庁舎6階 全員協議会室	
出席議員	岸議長、早川副議長、岡崎広報広聴委員会委員長、吉川副委員長、 豊嶋議員、杉本議員、山口議員、金田議員、今井議員、水本議員、 藤本議員、木山議員、山崎議員、阿部議員、桎木議員	
参加人数	6名	
経過記録	開 会	14時 00分
	議 長 挨 拶	14時 00分～ 14時 02分
	進 行 説 明	14時 02分～ 14時 05分
	自 己 紹 介	14時 05分～ 14時 10分
	意 見 交 換 ①	14時 10分～ 14時 35分
	席 替 え	14時 35分～ 14時 37分
	自 己 紹 介	14時 37分～ 14時 42分
	意 見 交 換 ②	14時 42分～ 15時 07分
	発 表	15時 07分～ 15時 22分
	参 加 者 感 想	15時 22分～ 15時 37分
	総 括	14時 37分～ 14時 40分
	アンケート記入	14時 40分～ 14時 45分
	閉 会	14時 45分
テ ー マ	【議員と話そう、茅ヶ崎のこと！！～茅ヶ崎の今とこれから～】 詳細なテーマについては、各テーブルにて話の上、決定。	
概 要	・第2回の参加者は7名参加予定であったが、1名当日欠席であった。	
	・当日参加者及び見学者なし。	
	・50歳代・60歳代が中心であった。（1名年齢不明）	
	・参加者人数の関係から、テーブルの数を5→3テーブルへ変更した。	
	各テーブルで闊達な意見交換が行われた。	
主な意見	別紙6から8のとおり	
令和7年12月16日 茅ヶ崎市議会議長 岸 正明 様 上記報告書のとおり開催しましたので報告します。 広報広聴委員会委員長 岡崎 進		

意見交換会における主な意見 (別紙6)	
日 時	令和7年11月22日 14時00分から15時45分
担 当	Aグループ 進行：柁木 太郎 書記：今井 理華
主な意見	自由記述
	<p>〈議会や行政と市民を近づけるには〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員は積極的に議場を飛び出してほしい。 ・議会事務局前に絵馬や短冊を下げられるようにして、市民に自由に書き込んでもらう。 ・移住を促すために雑誌を作る。 年齢別に作る。 妊活、子育てなど、テーマ別に市の支援策をまとめる。 若年層向けには紙の他にSNSやLINEを活用する。 ・ホームページは小学生でも情報にたどり着けるようにしてほしい。 ・支援がわかりづらいので、縦割りではなく年齢別に周知して！ <p>〈介護について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ不足で在宅介護が進まない。 ・主任ケアマネは大変なのでなりたがらない。だから事業所オープンが進まない。 ICT化してほしい。記録が多くて大変なので簡素化して、もっと実務に時間を割けるようにしてほしい。 ヘルパーには加算があるが、ケアマネの処遇改善は進んでいない。むしろケアマネの方が給料が安い。 ケアマネの更新研修は3～6か月もかかり、費用も8万円と高額。レポートなどの負担も大きい。簡素化して、市には補助金を出してほしい。 <p>〈子育てについて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市の子育て支援は充実している。そのため藤沢市に住所を移して茅ヶ崎市の子育てサークルなどを利用している人がある。茅ヶ崎生まれだが子どものことを考えて藤沢に転居した人もいる。 ・小中学生の放課後の居場所がある地域とない地域がある。 公民館やまちぢから協議会などでも取組は色々あるはず。告知不足か？ 課が違って子どもにかかわることはまとめて告知してほしい。 ・縦割りではなく「子育て」でひとくくりにして情報発信を！

<p>主な意見</p>	<p>〈議会について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大磯町議会は割れがちだが、茅ヶ崎市議会はバチバチしていない。 ・市長、副市長、教育長、議員全員が対立せず、茅ヶ崎をよくするために団結してくれるのかと思っていた。 ・議員が一丸となって取り組んでくれるのかと思っていた。 ・大磯町議会は仲良くない。茅ヶ崎は仲良さそうでいいなと思う。 ・市民は小さな要望をどこに持って行っていいかわからない。 <p>議員と気軽にお茶会したい。</p> <p>直に市役所でもいいのかも。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな子どもがいても参加しやすいように近所でアロハトークを開催すれば、もっと集まる！
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

意見交換会における主な意見

(別紙7)

日 時	令和7年11月22日 14時00分から15時45分
担 当	Bグループ 進行：木山 耕治 書記：藤本 恵祐
主な意見	自由記述
	<p>【市立病院関係】</p> <p>■予約したにも関わらず待ち時間が多過ぎるので改善して欲しい。 →スマホ等を活用し、リアルタイムに受診時間の目安が確認できる仕組みはできないか？（時間を有効活用したい）</p> <p>【教育関係】</p> <p>■学校のことに地域の色んな人たちが関わって欲しい。 →現状では関わる人たちの属性に偏りがある。 →声をあげられない人たちの関わりを増やすべき。</p> <p>■子どもたちへの支援を強化して欲しい。</p> <p>■あすなろ教室を拡充して欲しい。</p> <p>■通級制度（言葉、育ち）を中学校にも導入して欲しい。</p> <p>■中学校での武道教育をもっと拡充して欲しい。 →現状では柔道・剣道に偏っている。</p> <p>■小出地区の通学路（旧県道等）を整備して欲しい。</p> <p>■子どもたちが茅ヶ崎の歴史を学ぶ機会を増やして欲しい。 →茅ヶ崎では、北部を中心に太古の昔からサスティナブルな暮らしがある。 →茅ヶ崎だからこそ、海と里山の両方の暮らしや文化が体験できる。</p> <p>【風土・文化関係】</p> <p>■温かく穏やかな人柄の市民が多く、過ごしやすいまち。</p> <p>■サザンオールスターズや加山雄三さん以外の〇〇（ウリ）が欲しい。</p> <p>■音楽関係者も多く住んでおり、大々的な音楽フェスをやってみてはどうか？</p>

意見交換会における主な意見 (別紙8)	
日 時	令和7年11月22日 14時00分から15時45分
担 当	Cループ 進行：阿部 英光 書記：水本 定弘
主な意見	自由記述
	<p>○茅ヶ崎市の収入源（UP）について イベントが夏の海に集中している。冬はどうするのか？ ・冬のイベント 海側 ドローンの練習会や大会を開催 道の駅のさらなる活用として、ドラマ撮影などの誘致 山の手 海側と特色を変えた音楽ライブなど行う</p> <p>○介護について ケアマネに対する更新研修に対して補助金を支給してほしい。（県要望）</p> <p>○堤地区について 地域を活性化するために湧水を活用している。 「ノーザンビレッジ」→子ども達に茅ヶ崎市の歴史を知ってもらいたい。</p> <p>○資源について 茅ヶ崎も大磯（大磯在住の方）も活用されていないのもっと工夫が必要。</p> <p>○教育について 不登校が増えている（全国で35万人） 個人を大切にし地域全体で子育てを行い、孤立させない。 小・中学校（義務教育期間）が連携して支援が必要。</p>